

## 資料3

### 令和8管理年度（令和8年4月～令和9年3月）かたくちいわし瀬戸内海系群 漁獲可能量（TAC）の設定及び配分について（案）

令和8年1月  
水産庁

#### 1 TAC（案）

##### （1）設定の考え方

- ① 親魚量が令和17年（2035年）に、少なくとも50%の確率で、目標管理基準値を上回るよう、親魚量の値に応じ、次の方法で漁獲圧力を調整する（漁獲シナリオ）。
- ア 親魚量が限界管理基準値以上にある場合には、MSYを達成する水準に調整係数（ $\beta = 0.8$ ）を乗じた漁獲圧力とする。
- イ 親魚量が限界管理基準値を下回るが、禁漁水準以上ある場合には、親魚量の値に応じて上記アの漁獲圧力を更に削減した漁獲圧力とする。
- ウ 親魚量が禁漁水準を下回る場合には、漁獲圧力をゼロとする（実際の管理においては、その資源を目的とした採捕が禁止される）。
- ② 資源評価において示される当該管理年度の資源量の予測値と、漁獲シナリオにより得られる漁獲圧力を乗じた値をABCとし、TACは当該値を超えない量とする。

##### （2）令和8管理年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）（ステップ1）のTAC（案）

特定水産資源	TAC
かたくちいわし瀬戸内海系群	44,000トン

##### （参考1）資源管理の目標

- (1) 目標管理基準値：43千トン（MSYを達成するために必要な親魚量）
- (2) 限界管理基準値：17千トン（MSYの60パーセントを達成する親魚量）
- (3) 禁漁水準値：2千トン（MSYの10パーセントを達成する親魚量）

(参考2) TACの推移及び漁獲実績

単位：万トン

	R7(2025) 管理年度	R6(2024)年	R5(2023)年	R4(2022)年	R3(2021)年	R2(2020)年
TAC	①4.8 ②4.8	—	—	—	—	—
漁獲実績	—	4.0 (速報値)	4.3	4.5	3.6	4.1

注：令和7管理年度は、①とあるのは令和7年1月1日から12月31日までを、②とあるのは令和7年4月1日から令和8年3月31日までを意味する。

(出典：農林水産統計より水産庁作成)

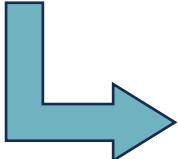
**2 配分（案）**

ステップ1のため、別紙のとおり、具体的な数量は設定せず、TACの内数として設定することとする（ただし、都道府県における管理を行う際の参考となる数量を提示する）。

別紙

令和8管理年度かたくちいわし瀬戸内海系群TACの設定及び配分について(案)

	TAC(トン)
かたくちいわし瀬戸内海系群	44,000



知事管理分	
都道府県名	数量(トン)
和歌山県、大阪府、兵庫県、岡山県、 広島県、山口県、徳島県、香川県、 愛媛県、福岡県及び大分県	44,000 の内数